

①令和6年産(現状)の水稲 ^{※1} 経営面積						①令和6年産(現況)の種子の合格率		
平地・中間			山間 ^{※3}			種子		
現状の経営面積及び受託面積 ^{※2} の合計			現状の経営面積及び受託面積 ^{※2} の合計			現況の種子の合格率（5カ年・全品種平均）		
30ha以上	・・・	10ポイント	5ha以上	・・・	10ポイント	90%以上	・・・	10ポイント
20ha以上	・・・	8ポイント	4ha以上	・・・	8ポイント	80%以上	・・・	8ポイント
15ha以上	・・・	6ポイント	3ha以上	・・・	6ポイント	70%以上	・・・	6ポイント
10ha以上	・・・	4ポイント	2ha以上	・・・	4ポイント	60%以上	・・・	4ポイント
5ha以上	・・・	2ポイント	1ha以上	・・・	2ポイント	50%以上	・・・	2ポイント

②令和9年産(目標)の水稲経営面積						②令和9年産(目標)の種子の合格率		
令和9年産の経営面積及び受託面積 ^{※2} の現状値と比較した増加割合						現況（①）からの種子の合格率向上 （全品種平均）		
25%以上	・・・	15ポイント				10ポイント以上又は100%	・・・	15ポイント
20%以上	・・・	12ポイント				8ポイント以上	・・・	12ポイント
15%以上	・・・	9ポイント				6ポイント以上	・・・	9ポイント
10%以上	・・・	6ポイント				4ポイント以上	・・・	6ポイント
5%以上	・・・	3ポイント				2ポイント以上	・・・	3ポイント

③導入機械の省力化効果					
導入を行う機械で行った作業における単位あたり作業時間削減割合					
30%以上	・・・	15ポイント			
25%以上	・・・	12ポイント			
20%以上	・・・	9ポイント			
15%以上	・・・	6ポイント			
10%以上	・・・	3ポイント			

④導入機械の削減効果					
導入する機械による燃料使用量削減割合 ^{※4}			導入する機械による肥料・資材削減割合 ^{※4}		
20%以上	・・・	5ポイント	10%以上	・・・	5ポイント
10%以上	・・・	3ポイント	5%以上	・・・	3ポイント
5%以上	・・・	1ポイント	3%以上	・・・	1ポイント

⑤地域計画との連動					
地域計画に沿った規模拡大である			・・・	5ポイント	

※1 水稲とは、主食用米、加工用米、新規需要米（飼料用米、米粉用米、WCS用稲、輸出用米）

※2 水稲の受託面積は主要5作業（播種、移植、防除、収穫、乾燥調製）の上位3作業の合計面積を3で除した面積（受託作業が2作業、1作業の場合も3で除した面積）

※3 山間とは、農林水産省HP（https://www.maff.go.jp/j/tokei/chiiki_ruikei/setsume.html）掲載の「農業地域類型一覧表(令和5年3月2日改定)」の第一分類で「山間農業地域」=4と区分されている地域。経営・受託面積の半分以上が山間農業地域である場合、山間のポイントを使用

※4 削減割合は、カタログや既存機械との比較、研究成果等から算出